



キラリまきらっ子



平和な世界を祈いました。

校長 前三盛 敦



本校では、慰霊の日の前の6月20日(火)に、国吉直美さんをお迎えして平和集会を行いました。

直美さんは、戦争の悲惨さ、平和の大切さをご自身のメッセージを込めながら、①ハイビスカスの花 ②うりずん ③対馬丸哀歌 ④アメージンググレイス ⑤ユーレイズミーアップ ⑥月桃の全6曲を歌って下さいました。直美さんの心に染み込むような清らかで澄んだ歌声は、まさに沖縄の青い空、青い海そのものの美しさでした。



真喜良っ子は、悲しく切ない曲の中にも大きな愛、尊い命の輝きを感じながら共に平和を願いました。直美さんは、「平和だからこそ夢が持てる。自分の可能性を信じて好きなことに挑戦しよう、やってみよう」と、自分と大好きな

音楽との出会いや経験を伝えて下さいました。

さて、映画「GAMA月桃の花」の主題歌でもあった直美さんの代表曲「月桃」を皆さんは知っていますか？なんと40代までの沖縄県民はこの歌をほとんど歌えるそうです。この「月桃」の曲は沖縄の作曲家海勢頭豊さんが41年前の1982年に作詞・作曲しました。海勢頭さんは、ある番組の特番で、激戦地となった沖縄本島南部を訪ねました。一家が全滅した屋敷の跡で目にしたのが、力強く咲く月桃の花。沖縄戦の悲しみと二度と戦争を繰り返さない決意を込めてこの歌を書き上げました。

海勢頭さんは「この花はものを言わないさ、戦争の時も皆散っていったんだ。でも生き残った花たちもいた。物言わない花でもたくましく生きているので…子どもたちに伝えていかなければと思った」と語っています。また海勢頭さんはガマの中で息をひそめて苦しみ耐えてきた沖縄戦と、もう1年以上も戦火におかれているウクライナの状況を重ねて心配しています。

私も「誰かが平和を創るのではない、私たち自身が学び行動しなければ築けない」と考えています。これからも子どもたちの平和な未来ともに学び創っていきましょう。

